

2015年3月、渋谷区で「同性パートナーシップ条例」が成立し、近頃は「ダイバーシティ」「LGBT」という言葉を耳にする機会も多くなってきている。だが、依然としてLGBT（性的マイノリティ）に対する偏見や差別、否定的な考えも社会に根強い。本公開講演会は、支援や政策提言の現場で実践を積んでこられた講師のお二人と一緒に、多様性を認める社会、人権としての性について考える場としたい。

# 現場 発！LGBTから考える

## 多様性のある社会、人権としての性

日時 2017年 場所 池袋キャンパス7号館  
**7月8日(土)** **7101教室**  
**13:30~16:30**

### 講師

いしざか

**石坂 わたる**

中野区議会議員

1976年生まれ。発達障がい児の教育と心理の専門家、ソーシャルワーカーであり、中野区議会議員。日本家政学会会員(保育・発達・子ども家庭福祉分野)。立教大学21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。主要論文に、「自治体現場におけるLGBT施策：行政・議会に求められる役割とは」『都市問題』第107巻第5号(2016年5月)、「同性とのパートナーシップにおける法制度上の障害と社会的あるいは心理的な壁」『Sexuality』第70号、(2015年4月)。



やくし みか  
講師 **薬師 実芳** NPO法人 ReBit 代表理事

1989年生まれ。行政/学校/企業等でLGBTに関する研修を多数実施するほか、全国15地域でLGBT成人式の運営や、キャリアカウンセラーとしてLGBTの就労支援を行う。2016年、世界経済フォーラム(ダボス会議)が選ぶ世界の20代30代の若手リーダー、グローバル・シェーパーズ・コミュニティに選出。共著に『LGBTってなんだろう?~からだの性・こころの性・好きになる性』(合同出版)、2014年ほか多数。現在、早稲田大学教育学研究科在学。



入場無料・申込不要

お子様を連れてご参加を希望される方は事務局までご相談下さい。